

## 夏はボボーンと盆踊り！

玉川の夏といえば納涼盆踊り大会！今年もあります！やります！踊っていただきます！どの会場も古いも若きも、男性も女性も、もちろん小さなお子さんも大歓迎！地元商店会、町会、法人会、PTA 等が中心になって運営する屋台も出ます、食べさせます、飲ませます、遊ばせま〜す！皆さんぜひぜひお誘い合わせの上、さあレッツ盆！盆！でも、「盆踊り」ってお盆の時期に行うから「盆踊り」っていうことでもいいの？実はそのとおり、いいんです。「盆踊り」の名前の由来は、年に一度この世に戻ってくる精霊を迎え、また送るための風習である「盂蘭盆会（うらぼんえ）」の時期に踊るから「盆踊り」というのです。そのルーツは意外と古いようです。「盆踊り」のルーツは、一説には鎌倉時代中期に一遍が広めた「踊り念仏」といわれています。それが次第に宗教色が薄れ、踊りそのものにウェイトが置かれるようになり、戦国時代には、そのものズバリ！お盆の時期に踊る「盆踊り」として登場。江戸時代中期には「盆踊り」の名称も定着。明治初期や戦時中は「盆踊り」も中止させられていましたが戦後に復活、各地で大ブレイクしました。さあ今年も暑い夏を盆踊りで吹き飛ばしましょう！



### < 瀬田 >

毎年美味しい屋台や楽しい催しが盛りだくさんの瀬田盆踊り大会に参加して暑気払いしましょう！



7月29日(土)・30日(日)

於：瀬田小学校校庭

時間：午後6時～9時

### < 玉川 >



美味しい屋台  
楽しい催しが  
待ってます！

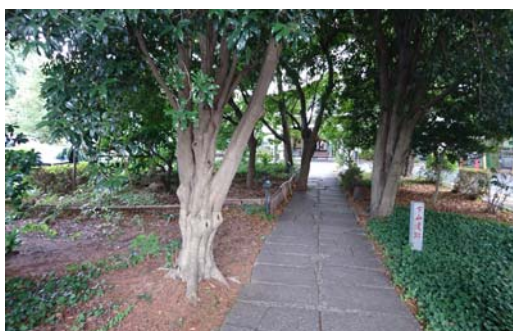
7月21日(金)・22日(土)

於：国道246 高架下ふれあい広場

時間：午後7時半～午後9時

### \* てくたく刀サッチ#50「下山遺跡」瀬田 4-8 \*

この遺跡は発掘調査の結果、先土器・縄文・弥生後期・古墳時代前期のものが重なっていることがわかりました。出土したものは黒曜石製の石器を含め 556 点もありました。凡そ 15000 年前の黒曜石製の石器が赤土の中から発見されたことは、産地である伊豆あるいは信濃の人々との間に、何らかの形で交流があったことを示しています。



# < 用 賀 > 『用賀に夏が来た! サマーステージ29』

7月19日(水)・20日(木) 17時～21時 於：くすのき公園



用賀はサマーステージと題して盆踊りのほかに、ステージ上で様々なグループが歌や踊りやダンスを披露する予定。PTA や商店街青年部を中心とした屋台や模擬店は例年大盛況！今年はどんな屋台が出店するのか？今から楽しみです！是非お越しください！

## 今年もあいます! 世田谷区たまがわ花火大会

今年のテーマは『響～たまがわに溶け合う光と音の輪～』

8月19日(土) 午後7時～8時

波紋が広がり、周囲に伝わっていく“響”をモチーフに、最大10号玉の大きく広がる精巧な光の響き、まるでダンスをしているようなエモーショナルな響き、世田谷の空を宝石のように彩る色彩の響きを、花火と音楽で表現していきます。その響きは、人から人へと広がり、会場を包み込む輪を創造します。また今年は、区制85周年を区民と共に祝う大会として、記念の花火を打ち上げます。

## 『川崎市制記念 第76回多摩川花火大会』

多摩川花火大会は1929年に始まり、本年で75回を迎える歴史ある花火大会で、多くの市民に親しまれています。今年も世田谷区たまがわ花火大会との同時開催により、一層華やかな大会となります。

今年もスターマインやナイヤガラのほか、音楽と花火のコラボレーション“ハナビリュージョン”を予定しています。



日時：平成29年8月19日(土)

＊ 荒天の場合は中止、順延なし  
花火打上げ午後7時00分から

午後8時00分まで(予定)

場所：川崎市高津区諏訪・多摩川河川敷

(第三京浜道路・国道246号

〔二子橋〕間の河川敷)

かつては、六郷橋で川開きとして始まったのがきっかけの、多摩川の夏の風物詩「多摩川花火大会」。例年8月中旬から下旬の土曜に、二子橋付近の多摩川河川敷で行われます。二子橋下流河川敷一帯には例年約19万人が集まり、テーマに即した花火や音楽花火のほか、スターマインや仕掛け花火などが夏の夜空を彩ります。この花火大会は、多摩川をはさみ、「世田谷区たまがわ花火大会」との同時開催です。